

皐月 愛南文芸

菊川俳句会

枝渡る小鳥のこぼす桃の花
 久闊の友の老け顔春うらら
 入学子少女の顔になりしかな
 青い目の遍路の背の荷の重し
 大空に何を望むか紫もくれん
 小粒でもひとときわ目立つ犬ふぐり
 若鮎の如くに凜と一年生
 引き出しの整理整頓春夕焼け
 この身体やんわり包む春の風
 弟の耳にタンポポ空青く
 「また来よう」桜トンネル風ふわり

篠南川柳会

老梅は道行く人をふりむかせ
 夫婦道苦楽を共に五十年
 わが道を行けない事情有り過ぎて
 右見ても左見ても迷い道
 しみじみと母に似たなと鏡見る
 鏡には写らぬ悩み胸の内
 子だくさん立派に育てた太腕

宮下 熊夫
 井関 禎美
 小野山シマ子
 村尾加都子
 長田 高明
 長田 千恵美
 中川 一喜
 森 早織梨
 橋本ひかる
 小野山果林
 鱒 瑞貴

射場ちずる
 松本 安子
 田中 保美
 国松 幸枝
 田中すみ子
 谷口千代子
 徳岡さつき

さらび短歌会

ふとい話まあ半分に聞いとこよ
 今年こそ足腰鍛えダイエツト
 天の川で逢う人今宵誰と誰
 枯れ枝に花を咲かせた雪景色
 秒読みで布団離れる霜の朝
 地球儀の何処かで今日もテロの声

共に在りし短き思い出淡くして夜更けて結婚記念日と気づく
 堰堤の板を外せば溢れ出る水は水路を音たて走る
 年々にくる衰えを花柄の手下げに詰め込みスパーへ行く
 夫と行くイベント会場少女等は黄色のハートの風船くれたり
 延光寺ミニ四国参りは霧雨に濡れつつたどる桜下道
 私生活はきれいじゃないなと思われる若きアウンサーの間違うもよし
 雨の降る春の彼岸の墓まいり六地藏さまも見守りている
 カワセミが一瞬視界を横切りて川面で銜へぬ小魚一尾
 えんどう飯つはなの煮物かぶら漬友ら持ち寄るわが誕生日
 わが庭に植ゑにし桜伐りがたく屋根越へて咲く枝垂れて淡々
 剣道して若き人らと談笑する老いの楽しみ孤独を知らず
 黄昏ちかき空をひとすじ飛行雲機影かすかにきらめきて過ぐ
 初孫は私と同じ干支うまれ笑顔いっぱい家族和やか

田村 京子
 篠原みちこ
 木本 清子
 松本もとお
 前田由紀子
 芝田 憲蔵

松本マス子
 岩村千代子
 安村寿美子
 河上 明美
 扇野八代生
 木本 清子
 前田 昭夫
 藤井 擴
 前田 充
 前田 知子
 澤近 正弘
 水野美代子
 川村 真美

はじめまして。赤ちゃん。

3月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

3月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
-----	--------	----

※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。